

近畿大学病院で 可溶性インターロイキン-2レセプター  
の血液検査を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 中央臨床検査部では、「可溶性インターロイキン-2レセプター（以下 sIL-2R）新規測定法の基本性能評価」という臨床研究を行っています。そのため、当院にて sIL-2R の血液検査を受けられた患者様の残余検体および診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

sIL-2R は生体における免疫機構活性化の指標となる検査項目で、成人 T 細胞白血病、悪性リンパ腫、自己免疫疾患、膠原病などで高値を示すことから、病勢を反映する指標として日常検査に利用されています。

この研究では、新規 sIL-2R 測定法の性能について調べることを主な目的としています。そのため、当院にて血液検査を受けられた患者様のうち、sIL-2R 検査を実施した方を対象として、残余検体（血清）と診療情報を研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。

また、本研究は新規 sIL-2R 測定法を開発した東ソー株式会社との共同研究として実施します。研究過程において、現在使用中の sIL-2R 測定法と新規 sIL-2R 測定法の検査値が不一致となった場合においてのみ、原因究明のために東ソー株式会社へ残余検体を提供する場合があります。なお、この場合においても患者様の情報を東ソー株式会社へ提供することはありません。また、研究のために取得した試料・情報は、本研究の目的のためだけに使用し、共同研究機関以外の機関への提供や二次利用は行いません。

② 利用する試料・情報の項目

- 検査済の残余検体（血清）
- sIL-2R 検査結果
- カルテ情報（年齢、性別、診断名、sIL-2R 検査結果及び投薬情報）

③ 試料・情報の提供を行う機関の名称

該当しない。

④ 提供する試料・情報の取得の方法

試料：日常診療において sIL-2R 測定依頼のあった検体の検査済残余血清

情報：診療録から取得

⑤ 提供する試料・情報を用いる研究に係る研究責任者（多機関共同研究にあつては、研究代表者）の氏名及び当該者が所属する研究機関の名称

岸野 好純（近畿大学病院）

⑥ 利用する者の範囲

近畿大学病院：岸野 好純、谷口 昌輝、芝野 陽太、上裕 俊法

東ソー株式会社：石塚 哲也、北岡 憲二、辻本 呉

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する機関の名称

近畿大学病院（研究代表機関）

東ソー株式会社

⑧ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の残余検体および診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。

⑨ ⑧の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

**[お問い合わせ先]**

近畿大学病院 中央臨床検査部 岸野 好純

電話：072-366-0221（内線：2187）

以上